

## 1 「ブラキスパイア」の症状

- ①単純劣性遺伝であり、劣性ホモになった場合に、**流産**やまれに**死産**となって現れます。  
種雄牛と雌牛がキャリアの場合  $Aa^* \times Aa = AA, 2Aa, aa$  で 25% (1/4 頭) にこの遺伝病が発現することになります。  
\* = a は BYS の遺伝子
- ②生まれたとしても「**長期在胎**」の傾向です。
- ③子牛の体重は **10~15kg** と**低体重**です。一部「CVM」と似ていますが、CVMの子牛より体重少なく、小さいです
- ④生まれも直ぐに死亡し、発症牛で生存した報告はありません。
- ⑤発症牛の特徴は**脊椎骨の短縮**、**細長い手足**を持っていること、また一番の特徴は**下顎が短縮**していることです。その他、複数の臓器で欠陥が観察されます。

## 2 キャリアが判明している種雄牛

アメリカの著名な種雄牛 **スウィート ハイブン** **トラディション**から由来しています。現在、利用されている種雄牛で下記の4頭が確認されています。

- |  |            |
|--|------------|
| ①29H8343 「ワーデル <b>コンビンサー</b> ET」           | 2249055A   |
| ②29H11111 「サンディーバレー <b>ボルトン</b> ET」        | 131823833A |
| ③D-253642 「 <b>ラモス</b> 」                   | 341485350D |
| ④JP3H53010 「スプリングヒルオーティアー <b>ラウンドアップ</b> 」 |            |

なお、平成24年8月公表の乳用種雄牛評価成績トップの

- ⑤JP3H54477 「レスポアール **サンディー スター** ハーゲン」

も **BYS** の **キャリア** ですので、利用の際は注意してください。

また、BLAD (牛白血球粘着不全症)、CVM (牛複合脊椎形成不全症についても検査結果からキャリアが判明していますので利用の際は、**BYS** と同様注意が必要です。

なお、種雄牛は全頭検査してありますが、ボルトンなどの有名牛を父に持つ娘牛は **BYS** の因子を持っている可能性があり、キャリアであるかの判定が出来ていません。

このことから、社団法人家畜改良事業団では雌牛の **BYS** の検査出来る体制を整えるとのことです。料金、申込み方法等は近く皆様にお知らせできると思います。

## 3 近親交配について

- ①近親交配が高まるとさまざまな負の傾向を示します。

近交係数 1%上がると、娘牛の能力は例えば乳量は **28.5kg**、無脂固形分は **2.51kg**、更に近交係数が **6.25%**に上がると、乳量は **178.12kg**、無脂固形分は **15.66kg** も低下してしまいます。このほか体型、骨格、肢蹄に悪い影響が出てきます。気づかないうちに近交係数が高まって、能力、体型ともに取り返しがつかない事になってしまう可能性があります。

近親交配を避けるためには、まず登録をして、血縁関係を明確にしておくことが大切です。また、4代に遡り、同一牛、同一系統の牛がいないようにすることです。